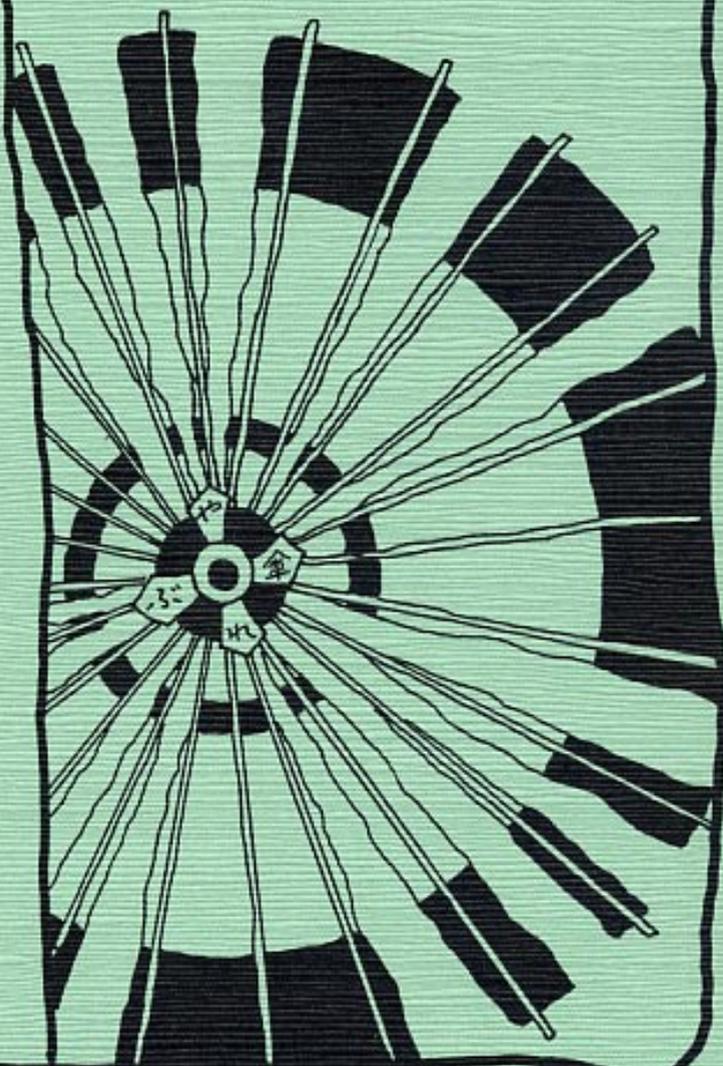


やぶれ傘



四十六号

二〇〇九年二月

木槌もてほぐす干物や雪催	根橋宏次
本殿に灯の入り除夜のお焚き上げ	廣瀬雅男
舌の上のラムネ溶けゆく小春かな	きくちきみえ
日溜りは紅葉散りゐる木の下に	天野美登里
凧や定期整備の花時計	瀬島酒望
米原を過ぎて冬野となりにけり	丑久保 勲
うつすらと苔むす岩に霜宿る	大島英昭
鐘つけば寒林ひしと応じけり	白石正躬
去年今年ともに年取る床柱	安藤久美子
舳ひ杭黒く錆たり冬の霧	藤井美晴
手にめでてワイングラスへ龍の玉	國保八江
白菜の畝に日差しの有り余る	渡邊孝彦
特大のくさめありけり隣より	松村光典
腕組みを解きて始める松手入れ	松本善一
山里の風は谷より干大根	松本正生

抄 集 句 選 夫 紀 崎 大 傘 ぶ れ や

夕焚火暗算ごつこする親子	村上祥三
回想のだうだう巡り糸編む	秋葉貞子
小春日や自由が丘のカフェテラス	有賀昌子
新藁を匂ひとともに畑に敷く	久世孝雄
声尖がる母には母の寒さかな	忽那みさ子
一遍の像に小春の日の光り	齋藤朋子
秋高しロープウエーはまだ上へ	佐藤静子
堂門の錆びし乳鋌薄紅葉	篠崎善久
針箱の指貫さがす一葉忌	鈴木昌子
麻酔から目醒めし夫よ冬薔薇	武石京子
冬空の透析室の血のにほひ	近間雄道
田の霜を崩して雀歩みけり	都丸スミ代
手に馴染む赤楽茶碗秋深む	貫井照子
冬紅葉塔のへつりの橋揺れて	橋本美代
汁粉屋に招き猫ゐる冬至かな	平岡かつを

干大根

大崎紀夫

数珠玉の掌のいくつかを日に晒す
浜菊や灯台に日は真横より
石積みの際間乾けり枇杷の花
鷹匠の家にももの焚く煙かな
雨あとを羽虫飛びけり冬牡丹

冬萌や田より三尺高き墓地

山あひを風のこゑ来る干大根

空高くビルの骨組み十二月

塗あか汲んでより柴ふし漬づけを上げにゆく

犬がゆき猟師がゆきてよりの風

雲ひくく山をかくせりなめこ汁

揚げ舟に雪積む夜となりにけり

雪 催

根橋宏次

初 鴨 の は な ば な し か る 水 し ぶ き
七 五 三 海 見 ゆ る ま で 磴 を ゆ き
綿 虫 の ふ え く る 通 り 雨 の あ と
舟 の 間 に 群 る る 小 魚 小 六 月
天 窓 に 木 の 葉 の う ご く 紙 漉 場
庭 石 を ク レ ー ン で 据 ゑ る 龍 の 玉
木 槌 も て ほ ぐ す 干 物 や 雪 催
入 れ 込 み は 三 間 ぶ ち ぬ き や さ く ら 鍋
熱 爛 や 箸 置 に す る 箸 袋
煤 逃 の 揚 げ ま ん ぢ ゆ う の 列 に つ く

お焚き上げ

廣瀬雅男

山門に落葉籠積む猫車
雨音に立冬の夜の明けにけり
背山より風の吹き来る大根干し
ビルの影斜めにかかる葱畑
御仏を障子明りに阿弥陀堂
富士の背に日の沈みゆく冬至かな
明け空に二十七夜の月冴ゆる
松飾る黒板塀の勝手口
灯の揺るるベニヤ囲ひの飾り売り
本殿に灯の入り除夜のお焚き上げ

小 春

きくちきみえ

柿を挽ぐ柿の高さの空を見て
いちやう落葉くぬぎ落葉のその先に
舌の上のラムネ溶けゆく小春かな
小春日の光あつまる浮子の先
水脈筋は光の筋に枯すすき
牡蠣剥きに波音つづきをりにけり
陽のあたるあたりの霜の光かな
柿すだれあはひに山を置きにけり
三日目の顔となりたる雪だるま
風邪引きに布団の重さありにけり

日溜り

天野美登里

日溜りは紅葉散りある木の下に
居間の灯を落としてにほふ榎櫃の実
杉の実や沢音のまた聞こえる
綿虫のすでに傾く陽の中に
垣となる茶の花の香をききにけり
小春日の朝の洗濯終りけり
庭の実にピラカンスと実南天
門松に風過ぐ露地の小料理屋
回廊へ階段のぼる冬日向
冬雲の速き流れを玻璃越しに

花時計

瀬島洒望

頂にパラボラの立つ紅葉山
ガードマン座す黄落の喫煙所
青丹よし奈良の干し柿哲郎忌
小春日や骨董市に寝釈迦像
冬日差す天麩羅蕎麦の見本かな
浮雲やダム湖を囲む山眠る
凧や定期整備の花時計
澱みまで一気に落葉流さるる
夫婦して大根引きをり比企の里
往還の道なりに吹くならい北風かな

冬 野

丑久保 勲

針 穴 を 糸 通 り け り 小 六 月
も う 少 し 行 け ば コ ン ビ ニ 初 時 雨
煙 突 の け む り 真 横 に 石 路 の 花
板 金 の 音 と 火 花 や 日 短 か
鉄 道 の 塵 取 に 掃 く 柿 落 葉
米 原 を 過 ぎ て 冬 野 と な り に け り
玻 璃 越 し の 冬 日 に う つ ら う つ ら か な
鳥 影 の 障 子 を 過 ぎ る 茶 話 の 席
車 椅 子 の ひ と の 高 さ の 冬 牡 丹
横 丁 に 大 型 単 車 冬 の 菊

◇ 3～4月の句会案内

月	日	時	句会名	会場	連絡先
3月	2日(月)	PM7:00	ぎんなん会	浦和コミセン	大島英昭
	3日(火)	AM9:00	こなから会	戸田市中央公民館	大崎紀夫・WEP
	3日(火)	PM6:00	うらら会	浦和コミセン	瀬島孟
	6日(金)	AM10:00	NHK大崎教室	さいたまアリーナ	NHK文化センター
	6日(金)	PM6:00	なごみ会	浦和コミセン	大島英昭
	18日(水)	PM6:00	三斗会	WEP俳句教室	丑久保勲・WEP
	21日(土)	PM2:00	セニョリータ句会	WEP俳句教室	藤井美晴
	22日(日)	PM2:00	やぶれ傘句会	WEP俳句教室	WEP編集室
	27日(金)	PM3:00	WEP大崎教室	WEP俳句教室	WEP編集室
	28日(土)	AM10:00	楽天会	戸田市中央公民館	廣瀬雅男
4月	3日(金)	AM10:00	NHK大崎教室	さいたまアリーナ	NHK文化センター
	3日(金)	PM6:00	なごみ会	浦和コミセン	大島英昭
	6日(月)	PM7:00	ぎんなん会	浦和コミセン	大島英昭
	7日(火)	AM9:00	こなから会	戸田市中央公民館	大崎紀夫・WEP
	7日(火)	PM6:00	うらら会	浦和コミセン	瀬島孟
	15日(水)	PM6:00	三斗会	WEP俳句教室	丑久保勲・WEP
	18日(土)	PM2:00	セニョリータ句会	WEP俳句教室	藤井美晴
	19日(日)	AM10:00	吟行会(下記注)	皇居・東御苑	丑久保勲
	24日(金)	PM3:00	WEP大崎教室	WEP俳句教室	WEP編集室
	25日(土)	AM10:00	楽天会	戸田市中央公民館	廣瀬雅男
	26日(日)	PM2:00	やぶれ傘句会	WEP俳句教室	WEP編集室

(注) 4月19日(日)の吟行。集合は10時。丸の内皇居前のパレスホテル(現在解体工事中)の前の大手門入口。吟行地:皇居・東御苑。句会場:森下文化センター(地下鉄大手町駅から徒歩3分、清澄白河駅から徒歩8分)。

◎ 連絡先

瀬島孟	☎ 048-862-2757	藤井美晴	☎ 0422-55-2733
大島英昭	☎ 048-592-5041	WEP編集室	☎ 03-5368-1870
廣瀬雅男	☎ 048-443-7522	浦和コミセン	☎ 048-887-6565
丑久保勲	☎ 048-853-3856	WEP俳句教室	WEP編集室へ